

農作物の生育概況等について

1 気象経過

5月は寒暖の差が大きく推移した。平均気温は平年並から高く、降水量は平年並みから多く、日照時間は平年並から多かった。5月16、17日には、県内各地で強風が確認された。6月は、上旬は平年並みの気温で推移したものの、中旬以降は高く推移している。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 移植作業の盛期は5月18日（平年比±0日）で、平年並みの作業進捗となった。
- ・ 6月10日現在の生育は、草丈が平年並み、茎数が平年より少なく、葉色は平年よりやや淡く、生育量に圃場間差が見られる。

(2) 果 樹

- ・ さくらんぼの予想収穫量は12,100トン（令和6年5月21日に山形県さくらんぼ作柄調査委員会発表、前年比93%、平年比91%）で、作柄は「やや少ない」。
- ・ さくらんぼの収穫盛期は前年より2日程度、平年より7～9日程度早く、「佐藤錦」は6月11日～17日頃、「やまがた紅王」は6月16日～23日頃、「紅秀峰」は6月18日～25日頃と見込まれる。
- ・ 5月末から6月初旬にかけて気温が低かったことから、さくらんぼの着色は良好となっている。
- ・ 昨年夏の高温の影響で双子果の発生が多い。また、「佐藤錦」において、6月中旬からの高温の影響で果実が軟化する障害果の発生が一部で見られる。

(3) 野 菜

- ・ 露地すいかの交配は、5月25日頃から始まり（前年－2日）、盛期は例年並の6月1～20日頃となった。
- ・ 露地メロンの交配は、例年よりやや早い5月15日頃から始まり、盛期は例年並の5月25日～6月10日頃となった。
- ・ ハウスメロンは、生育、着果、果実肥大は良好で、収穫は6月12日頃から始まっている。収穫盛期は例年並みの6月22日～27日頃となる見込み。

3 当面の主な技術対策

- 〈水 稲〉「雪若丸等初期生育量確保強化期間」（6月5日～20日）を設定して、茎数増加を促す浅水管理徹底を推進、適期の中干し実施、食味重視の追肥、斑点米カメムシ類の防除対策（草刈り等）
- 〈果 樹〉さくらんぼのもぎ遅れ防止・厳選出荷・高温対策の徹底を推進、オウトウショウジョウバエ・りんご黒星病・もものせん孔細菌病等の防除の徹底
- 〈野 菜〉ハウス・露地果菜類の水分・温度・肥培管理の徹底、露地野菜の排水対策の実施、各種病害虫の適期防除の徹底
- 〈農作業安全〉熱中症や農作業事故を防止するための基本的な対策の実施